太陽電池モジュール
パワーコンディショナ
エ コ キ ュ ー ト
マルチエネルギーモニタ JH-RWL4

本書は下記エコキュートシステム型式の取扱説明書（追補版）です。
WX-SB37F、WX-SB46F に対しての、違いについて記載しています。
マルチエネルギーモニタ（JH-RWL4）同梱の取扱説明書と併せてご確認ください。

システム型式

WX-SB37FH … 370L 1缶式 フルオートタイプ
WX-SB46FH … 460L 1缶式 フルオートタイプ
WX-SB37FK … 370L 1缶式 フルオートタイプ （寒冷地向け）
WX-SB46FK … 460L 1缶式 フルオートタイプ （寒冷地向け）

ソーラー・エコキュート

取扱説明書

（追補版）

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書および別冊の「取扱説明書 追補版（仕様）」「使いかたガイド」は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保管してください。

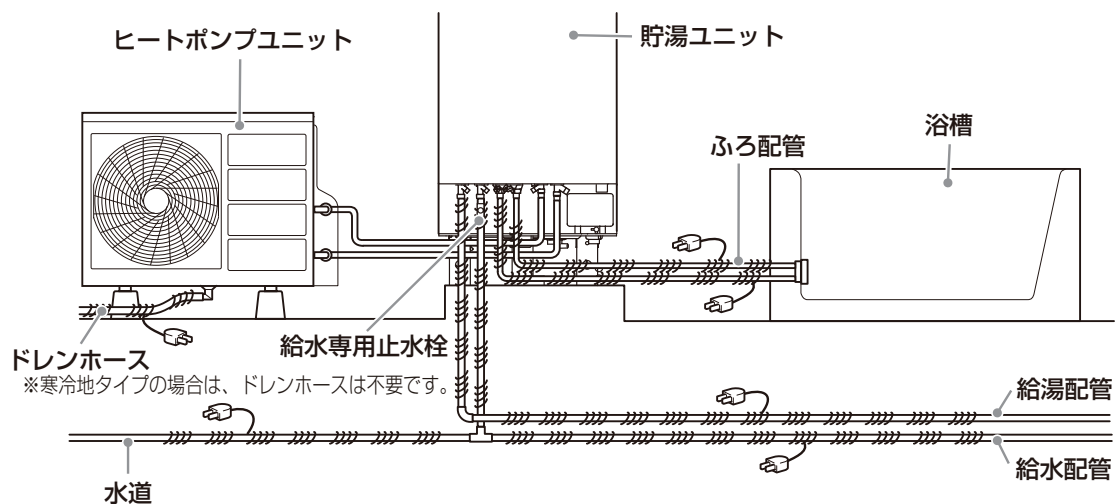
製品構成と各部の名前

ヒートポンプユニット

凍結防止ヒーター（その他配管の凍結予防）

- 凍結防止ヒーターを使用するときは、すべての電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 凍結防止ヒーターを使用しないときは、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

●配管の凍結防止対策を確認する
凍結すると機器が破損したり、配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

お願い

- 配管が凍結した場合は、給水専用止水栓を閉じて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

もくじ
はじめに
各部の名前とはたらき
太陽光発電システムを使う
エコキュートを使う
発電実績
設定する
Webモニタリングサービス
このようなときは
索引

水抜きをする（16 日間以上使用しないとき）

⚠警告

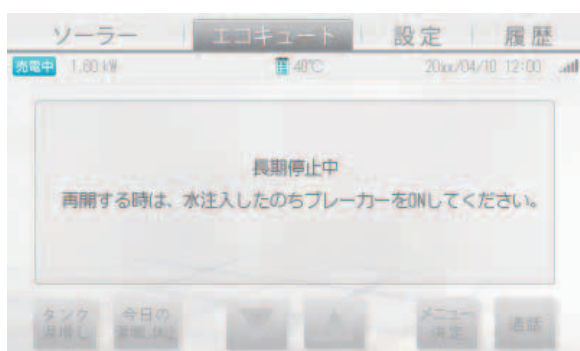
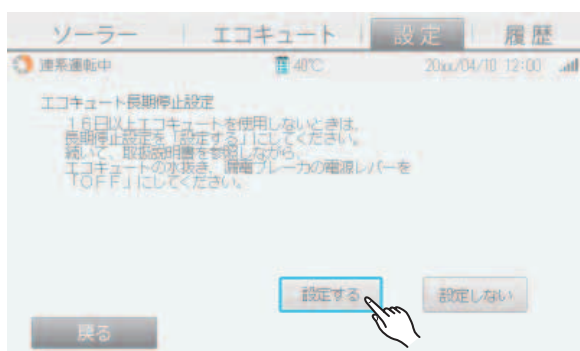
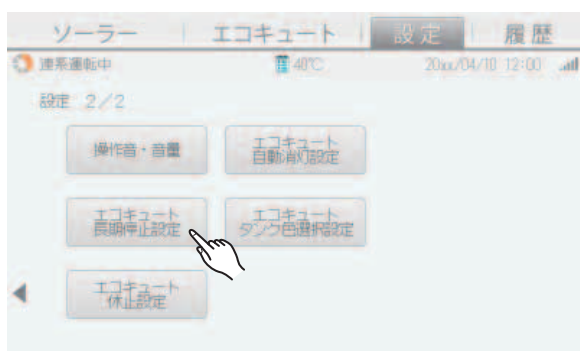
●排水時はお湯に手を触れない
やけどをすることがあります。

●貯湯ユニットの内部配管には手を触れない
やけどをすることがあります。

●漏電ブレーカーを操作するときは、ぬれた手でおこなわない
感電するおそれがあります。

⚠注意

● 16 日間以上使用しないときは、漏電ブレーカーの電源レバーを「OFF」にして貯湯ユニットとヒートポンプユニットの排水をする
排水をしないと水質が変化することがあります。また、冬期は凍結して機器が破損することがあります。

●操作カバーを閉じる
開けたままにしておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

1 **設定のタブをタッチし、設定のトップ画面で ▶ をタッチして設定画面 2/2 へ移行し［エコキュート長期停止設定］をタッチする**

エコキュート長期停止設定の画面が表示されます。

2 **［設定する］をタッチする**

3 **エコキュートのトップ画面に「長期停止中 再開する時は、水注入したのちブレーカーをＯＮしてください。」と表示されます**

以下水抜き作業になります。（手順４へ）

エコキュート長期停止の設定をしたが、すぐに設定を解除するなど、ブレーカーを OFF にせずに解除する場合は再度手順 1、2 より「設定しない」をタッチしてください。

メモ

●お湯を使用しない期間が 15 日間以内の場合は、休止設定をおすすめします。（☞ 160 ページ）

◆ 貯湯ユニット

別売部品の配管カバーまたは脚カバーを装着している場合は、カバーをはずしてください。
(カバーの端面で手を切らないよう注意してください。)

【はずし方】
(1)ネジ3本をはずす。
(2)カバーを上下に
　動かしながら手前に引き、
　ツメをはずす。

ネジ
脚カバー

4 湯水混合栓を湯側全開にして、貯湯ユニット内をほぼ水の状態にする

5 お湯がぬるくなったら、湯水混合栓を閉じる

貯湯ユニットの熱湯を下水に流さないための必要な操作です。

6 給水専用主水栓を閉じる

7 おふろの排水栓を抜く

8 の操作をするとふろ配管の水抜きをします。

8 (ホーム) を 5 秒以上長押しする

ショートカット画面が表示されます。(☞ 107 ページ)

9 「水抜き制御」をタッチする

「水抜き中」が画面に表示されます。
「水抜き」をやめる場合は[メニュー決定]をタッチする。
ふろ配管の水抜きが完了すると通常表示になります。

10 漏電ブレーカー操作カバーをはずし、漏電ブレーカーの電源レバーを「OFF」にする

<以下次のページに続く>

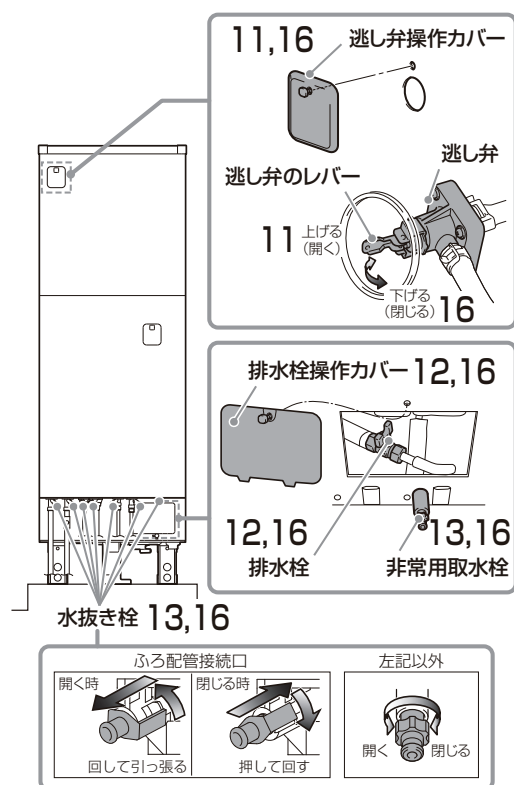
◆ 貯湯ユニット

◆ ヒートポンプユニット

水抜き栓のつまみ
開く　閉じる

B側水抜き栓
15,16

A側水抜き栓
15,16

熱交水抜き栓
15,16

11 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げる

12 排水栓操作カバーをはずし、排水栓を開く

※ 排水が終わるまでに 30 ～ 40 分かかります。

13 排水が終わったら貯湯ユニットの水抜き栓（7 ヵ所）と非常用取水栓を開く

（必要な場合はバケツ等で水を受けてください。）

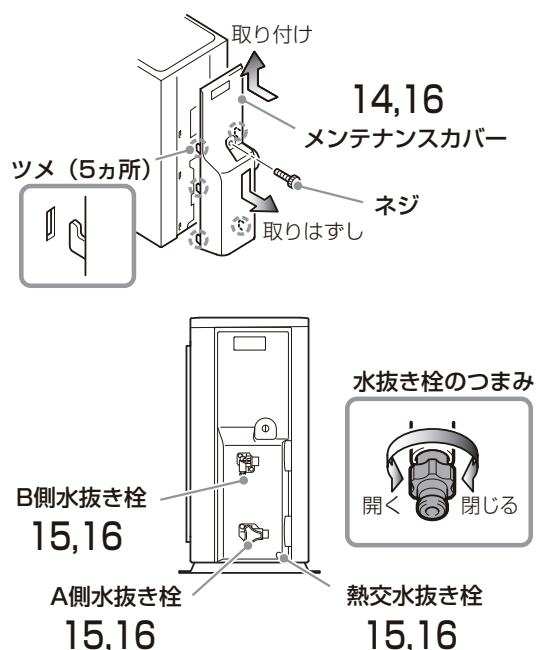
◆ ヒートポンプユニット

14 ヒートポンプユニットのメンテナンスカバーを止めているネジをはずし、下へスライドさせツメ（5 ヵ所）をはずしカバーを取りはずす

必要以上にスライドさせるとツメ部が破損するおそれがあります。

15 ヒートポンプユニットの熱交水抜き栓を開き、次に A 側および B 側の水抜き栓を開く

※ 排水が終わるまでに約 20 分かかります。

16 排水が終わったら、逃し弁のレバーを下げて、すべての栓と操作カバーおよびヒートポンプユニットのメンテナンスカバーを元どおりに戻す

お願い

●長期間お湯を使用しない間に、凍結のおそれがある場合で、水抜き作業が困難な場合は、お買い上げの販売店に依頼してください。

エコキュート　－水抜き後、ご使用になるとき

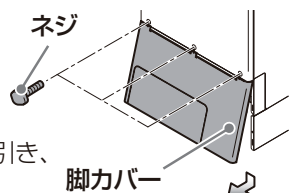
水抜き後、ご使用になるときは、以下の作業を行ってください。

別売部品の配管カバーまたは脚カバーを装着している場合は、カバーをはずしてください。

（カバーの端面で手を切らないよう注意してください。）

【はずし方】

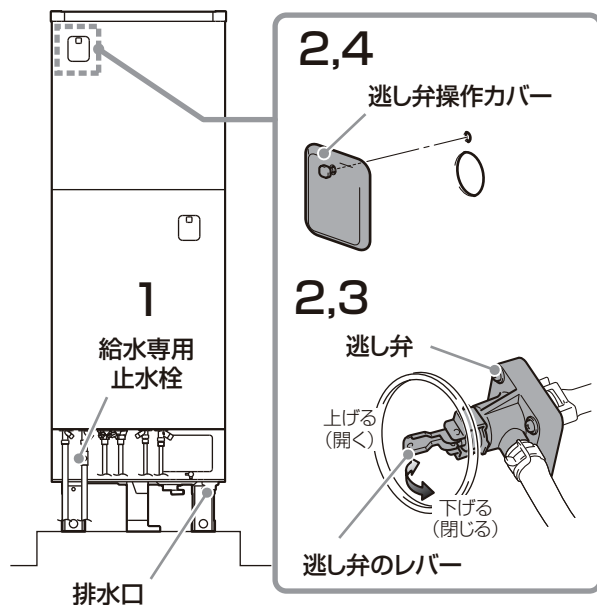
（1）ネジ3本をはずす。

（2）カバーを上下に動かしながら手前に引き、ツメをはずす。

⚠警告

●**漏電ブレーカーを操作するときは、ぬれた手でおこなわない**
感電することがあります。

⚠注意

●**貯湯ユニット・ヒートポンプユニットを満水にしてから電源を入れる**
満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。

◆ 貯湯ユニット

貯湯ユニットとヒートポンプユニットを満水にする

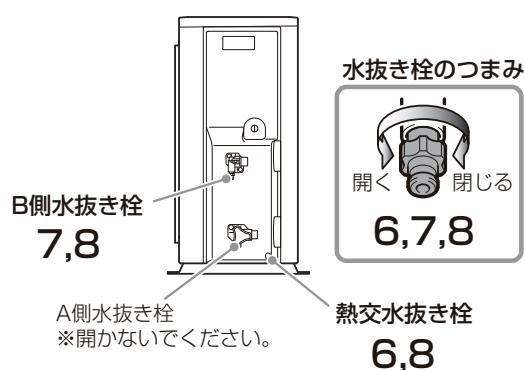
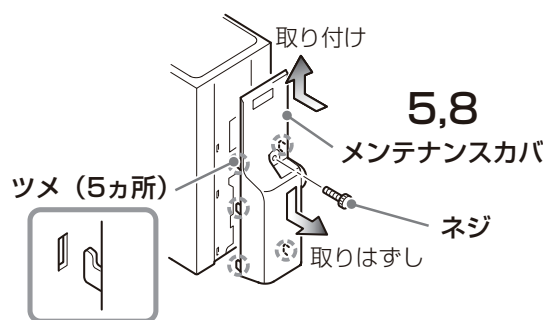
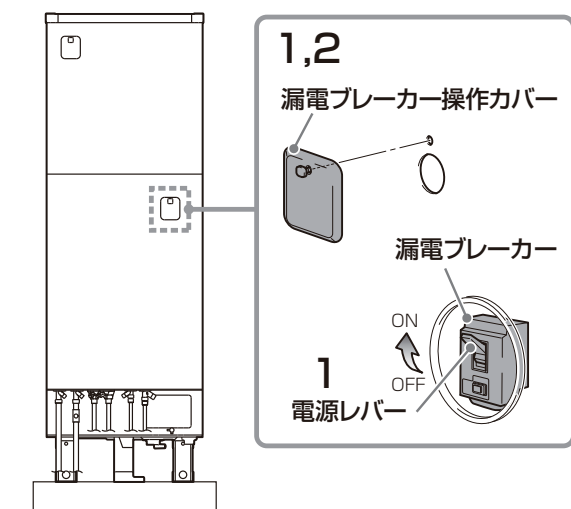
1 給水専用止水栓を開く

2 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げる

約 30 分で貯湯ユニットが満水になります。

3 排水口から水が出たら逃し弁のレバーを下げる

4 逃し弁操作カバーを元どおりに取り付ける

〈以下次ページに続く〉

◆ ヒートポンプユニット

5 **ヒートポンプユニットのメンテナンスカバーを止めているネジをはずし、下へスライドさせツメ（5ヵ所）をはずしカバーを取りはずす**

● 必要以上にスライドさせるとツメ部が破損するおそれがあります。

6 **ヒートポンプユニットの熱交水抜き栓を開き、エア抜きをする**

● 2分以上、十分にエアが抜けるまでおこなってください。

7 **ヒートポンプユニットのB側水抜き栓を開き、エア抜きをする**

● 十分なエア抜きをおこなってください。
● A側水抜き栓は開かないでください。

8 **エア抜きが終わったら水抜き栓（熱交、B側）を閉じ、メンテナンスカバーを元どおりに取り付ける**

◆ 貯湯ユニット

電源を入れる

1 **漏電ブレーカー操作カバーをはずし、漏電ブレーカーの電源レバーを「ON」にする**

● ヒートポンプ配管のエア抜き運転を開始します。
「ヒートポンプ エア抜き中」が表示されます。
※ 電源を「OFF」にしていた期間が24時間以内であれば、エア抜き運転はおこないません。
● 約10分でエア抜き運転が終了します。
● エア抜き運転が終了すると、ヒートポンプユニットが運転をはじめ、「湯増し」が表示されます。

2 **漏電ブレーカー操作カバーを元どおりに取り付ける**

※マルチエネルギーモニタの時刻が間違っている場合は、時刻を合わせ（☞94ページ）、各種設定（給湯温度、ふろ温度）をしてください。

エコキュートの仕様

[システム]

システム型式	WX-SB37FH	WX-SB37FK
タイプ	フルオート（一般地）	フルオート（寒冷地）
適応地域　※1	次世代省エネ基準Ⅲ～Ⅴ地域	次世代省エネ基準Ⅰ、Ⅱ地域（極寒地を除く）
適用電力制度　※2	季節別時間帯別電灯型／時間帯別電灯型（通電制御型）	
使用電源（相数／定格電圧／周波数）	単相 200V　50Hz ／ 60Hz	
最大電流	17A	19A
年間給湯保温効率（JIS）　※3	3.0	
寒冷地年間給湯保温効率（JIS）	ー	2.6
沸き上げ温度範囲　※4	約 65 ～ 90℃	

[貯湯ユニット]

貯湯ユニット型式	WX-B37FH	WX-B37FK
設置場所	屋内外兼用型	
タンク容量	370L	
水側最高使用圧力（減圧弁設定圧力）	290kPa（260kPa）	
外形寸法（高さ×幅×奥行）	1880mm × 630mm × 730mm	
質量／満水時	約 69kg ／約 439kg	
ふろ保温消費電力（50kz ／ 60kz）	循環ポンプ 65W	
凍結防止ヒーター消費電力	なし	117W（ただし冬期のみ作動）
制御用消費電力	10 W（リモコン消灯時 5 W）	

[ヒートポンプユニット]

ヒートポンプユニット型式	WU-B37FH	WU-B37FK
外形寸法（高さ×幅×奥行）	650mm × 820mm（カバー部 +80mm）× 300mm	
質量	49kg	51kg
中間期標準加熱能力／消費電力　※5	4.5kW ／ 1.025kW	
冬期高温加熱能力／消費電力　※6	4.5kW ／ 1.500kW	
中間期標準運転電流　※5	6.1A	
寒冷地冬期高温加熱能力	ー	4.5kW
運転音（中間期　※5 ／冬期　※6）　※7	38dB ／ 43dB	
設置可能最低外気温度	-10℃	-25℃
設計圧力　高圧／低圧	14.0MPa ／ 8.5MPa	
冷媒の種類／充填量	CO_2 ／ 0.825kg	CO_2 ／ 0.540kg

※1　次世代省エネルギー基準Ⅲ地域：主に宮城、山形、福島、栃木、新潟、長野県の一部など。／次世代省エネルギー基準Ⅳ地域：主に関東、東海、北陸、近畿、中国、四国、九州北部など。／次世代省エネルギー基準Ⅴ地域：主に九州南部など。 また最低気温が対応温度を下回る地域には設置しないでください。

※2　季節別時間帯別の対応電力制度は、電力会社により異なります。

※3　年間給湯保温効率（JIS）は日本工業規格 JIS C9220：2011 に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量及び保温熱量を表したものです。地域条件：運転モードの設定やご使用条件等により変わります。／年間給湯保温効率（JIS）＝ 1 年間で使用する給湯とふろ保温に係る熱量÷ 1 年間で必要な消費電力量／年間給湯保温効率（JIS）算出時の条件／着霜期高温条件：外気温（乾球温度 / 湿球温度）2℃ /1℃水温 5℃沸き上げ温度 90℃／冬期給湯モード条件時の沸き上げ温度 70℃（460L タイプは 67℃）／着霜期給湯モード条件時の沸き上げ温度 70℃（460L タイプは 67℃）/ 夜間消費電力量比率（冬期給湯モード性能試験条件時）：80%

※4　ヒートポンプユニットで沸き上げる温度です。タンク内の湯温は配管の放熱などにより低くなります。

※5　中間期：外気温（乾球温度 / 湿球温度）16℃ /12℃水温 17℃沸き上げ温度 65℃、沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。

※6　冬期高温：外気温（乾球温度 / 湿球温度）7℃ /6℃水温 9℃沸き上げ温度 90℃、低外気温時は加熱能力が低下することがあります。沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。

※7　運転音は、JIS C9220：2011 に基づき、反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。

エコキュートの仕様

[システム]

システム型式	WX-SB46FH	WX-SB46FK
タイプ	フルオート（一般地）	フルオート（寒冷地）
適応地域　※1	次世代省エネ基準Ⅲ～Ⅴ地域	次世代省エネ基準Ⅰ、Ⅱ地域（極寒地を除く）
適用電力制度　※2	季節別時間帯別電灯型／時間帯別電灯型（通電制御型）	
使用電源（相数／定格電圧／周波数）	単相 200V　50Hz ／ 60Hz	
最大電流	17A	19A
年間給湯保温効率（JIS）　※3	3.0	
寒冷地年間給湯保温効率（JIS）	ー	2.6
沸き上げ温度範囲　※4	約 65 ～ 90℃	

[貯湯ユニット]

貯湯ユニット型式	WX-B46FH	WX-B46FK
設置場所	屋内外兼用型	
タンク容量	460L	
水側最高使用圧力（減圧弁設定圧力）	290kPa（260kPa）	
外形寸法（高さ×幅×奥行）	1870mm × 700mm × 795mm	
質量／満水時	約 80kg ／約 540kg	
ふろ保温消費電力（50kz ／ 60kz）	循環ポンプ 65W	
凍結防止ヒーター消費電力	なし	117W（ただし冬期のみ作動）
制御用消費電力	10 W（リモコン消灯時 5 W）	

[ヒートポンプユニット]

ヒートポンプユニット型式	WU-B46FH	WU-B46FK
外形寸法（高さ×幅×奥行）	650mm × 820mm（カバー部 +80mm）× 300mm	
質量	51kg	52kg
中間期標準加熱能力／消費電力　※5	6.0kW ／ 1.365kW	
冬期高温加熱能力／消費電力　※6	6.0kW ／ 2.000kW	
中間期標準運転電流　※5	7.3A	
寒冷地冬期高温加熱能力	ー	6.0kW
運転音（中間期　※5 ／冬期　※6）　※7	40dB ／ 45dB	
設置可能最低外気温度	-10℃	-25℃
設計圧力　高圧／低圧	14.0MPa ／ 8.5MPa	
冷媒の種類／充填量	CO_2 ／ 0.700kg	

※1　次世代省エネルギー基準Ⅲ地域：主に宮城、山形、福島、栃木、新潟、長野県の一部など。／次世代省エネルギー基準Ⅳ地域：主に関東、東海、北陸、近畿、中国、四国、九州北部など。／次世代省エネルギー基準Ⅴ地域：主に九州南部など。 また最低気温が対応温度を下回る地域には設置しないでください。

※2　季節別時間帯別の対応電力制度は、電力会社により異なります。

※3　年間給湯保温効率（JIS）は日本工業規格 JIS C9220：2011 に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量及び保温熱量を表したものです。地域条件：運転モードの設定やご使用条件等により変わります。／年間給湯保温効率（JIS）＝ 1 年間で使用する給湯とふろ保温に係る熱量 ÷ 1 年間で必要な消費電力量／年間給湯保温効率（JIS）算出時の条件／着霜期高温条件：外気温（乾球温度 / 湿球温度）2℃ /1℃水温 5℃沸き上げ温度 90℃／冬期給湯モード条件時の沸き上げ温度 70℃（460L タイプは 67℃）／着霜期給湯モード条件時の沸き上げ温度 70℃（460L タイプは 67℃）/ 夜間消費電力量比率（冬期給湯モード性能試験条件時）：80%

※4　ヒートポンプユニットで沸き上げる温度です。タンク内の湯温は配管の放熱などにより低くなります。

※5　中間期：外気温（乾球温度 / 湿球温度）16℃ /12℃水温 17℃沸き上げ温度 65℃、沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。

※6　冬期高温：外気温（乾球温度 / 湿球温度）7℃ /6℃水温 9℃沸き上げ温度 90℃、低外気温時は加熱能力が低下することがあります。沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。

※7　運転音は、JIS C9220：2011 に基づき、反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。